

各位

スパークス・サーベイ ―世相をスパッと一刀両断― <<年末号>> 日本株式市場の振り返りと展望に関する意識調査 2024

「今年、投資デビュー」 20代投資家では32%

投資家の71%が「新NISAを利用している」、30代男性投資家では83%

2024年の“日本株式市場を表す漢字” 1位「乱」2位「変」

「2024年の投資損益はプラス着地」と予想する投資家は62%、昨年比6ポイント上昇

投資家を選ぶ今年の経済分野の流行語 1位「新NISA／NISA／つみたてNISA」

“またトラ”が2025年日本株式市場に与える影響 投資経験者の41%が「良い影響」と予想

スパークス・アセット・マネジメント株式会社 (<https://www.sparx.co.jp/>) (東京都港区。代表取締役社長 阿部修平) は、今年1年の日本株式市場を総括し、また、来年以降の見通しについて探るため、2024年11月8日～11月12日の5日間、全国の20～79歳の投資経験者(日本株式、外国株式、公社債、投資信託などの金融資産への投資経験がある人)を対象に、「日本株式市場の振り返りと展望に関する意識調査2024」をインターネットリサーチにより実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。

なお本レポートは、サンプル調査という性質上、実態を全て反映したものではありません。また、特定の投資商品や個別銘柄の取引を勧誘する目的で作成したものではありません。(調査協力会社: ネットエイジア株式会社)

▼2024年、投資経験者・投資家の実態 ……p.2-6

- 「今年、投資デビュー」 20代投資家では32%
- 現在投資している資産 1位「日本株式」、20代と30代では「投資信託」が1位に
- 投資家の“ポイント投資”利用率は49%、30代投資家では58%
- 投資家の35%が「ESG投資に前向き」、20代男性投資家では56%
- 投資家の71%が「新NISAを利用している」、30代男性投資家では83%

▼2024年の振り返り ……p.7-11

- 2024年の“日本株式市場を表す漢字” 1位「乱」2位「変」
- 「2024年の投資損益はプラス着地」と予想する投資家は62%、昨年比6ポイント上昇
- 投資損益プラス着地予想者の勝因 1位「動じない・一喜一憂しない」2位「放置・ほったらかし投資」
- 投資損益マイナス着地予想者の敗因 1位「円安・ドル高」2位「業績悪化・保有株の不振」
- 2024年8月の日経平均株価の記録的な乱高下、投資家はどのように動いた？
投資家の34%が「日経平均株価が大きく下落した局面で保有投資資産を買い増した」と回答
- 投資家を選ぶ今年の経済分野の流行語 1位「新NISA／NISA／つみたてNISA」
- 投資家が積極的に投資を進めるきっかけとなったニュース 2位「アメリカ大統領選挙」、1位は？

▼2025年以降の展望 ……p.12-15

- 投資経験者が来年以降の日本経済成長のために必要だと思うこと 1位「物価高騰の抑制」
- 今後、長期的に成長の期待が持てそうだと感じる市場TOP3 「知能化技術」「先進医療」「ロボット工学」
- “与党過半数割れ”が2025年日本株式市場に与える影響 投資経験者の33%が「良い影響」と予想
- “またトラ”が2025年日本株式市場に与える影響 投資経験者の41%が「良い影響」と予想
- 2025年12月末の日経平均株価 株式投資家の予想は平均37,361円
日本企業が本来の実力を発揮し、株式市場で正当に評価された場合の予想は平均41,517円

◆◆報道関係の皆様へ◆◆

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「スパークス・アセット・マネジメント調べ」と付記のうえ、ご使用いただきますようお願い申し上げます。



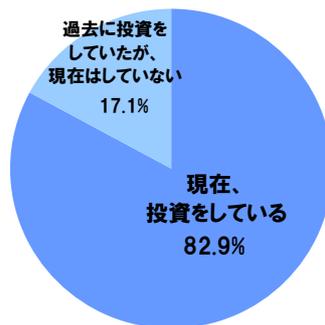
▼2024年、投資経験者・投資家の実態

◆「今年、投資デビュー」20代投資家では32%

全国の20～79歳の投資経験者1,000名(全回答者)に、現在の投資状況について聞いたところ、「投資家」(「現在、投資をしている」と回答した人)は82.9%、「投資離脱者」(「過去に投資をしていたが、現在はしていない」と回答した人)は17.1%となりました。【図1】

[図1]

◆現在の投資状況 [単一回答形式]
全体[n=1000]

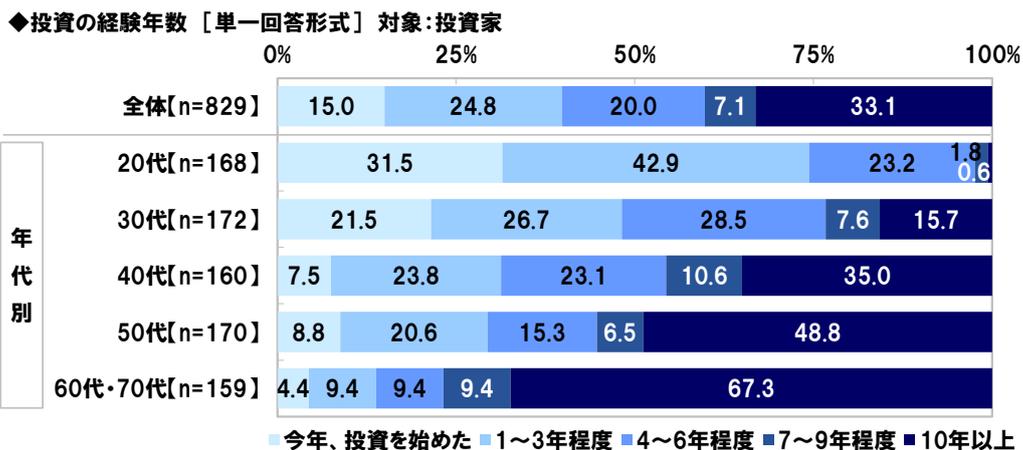


次に、投資の経験年数を聞いたところ、投資家(829名)では、「今年、投資を始めた」が15.0%、「1～3年程度」が24.8%、「4～6年程度」が20.0%、「7～9年程度」が7.1%、「10年以上」が33.1%となりました。

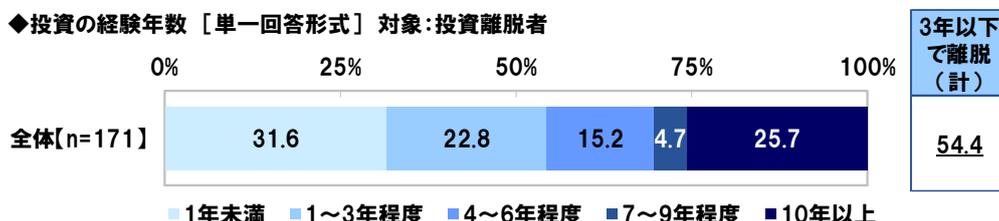
年代別にみると、「今年、投資を始めた」と回答した人の割合は、20代では31.5%、30代では21.5%、40代では7.5%、50代では8.8%、60代・70代では4.4%でした。

投資離脱者(171名)についてみると、投資の経験年数は、「1年未満」が31.6%、「1～3年程度」が22.8%で、合計した「3年以下で離脱」は54.4%となりました。また、「4～6年程度」は15.2%、「7～9年程度」は4.7%、「10年以上」は25.7%でした。【図2】【図3】

[図2]



[図3]





◆現在投資している資産 1位「日本株式」、20代と30代では「投資信託」が1位に

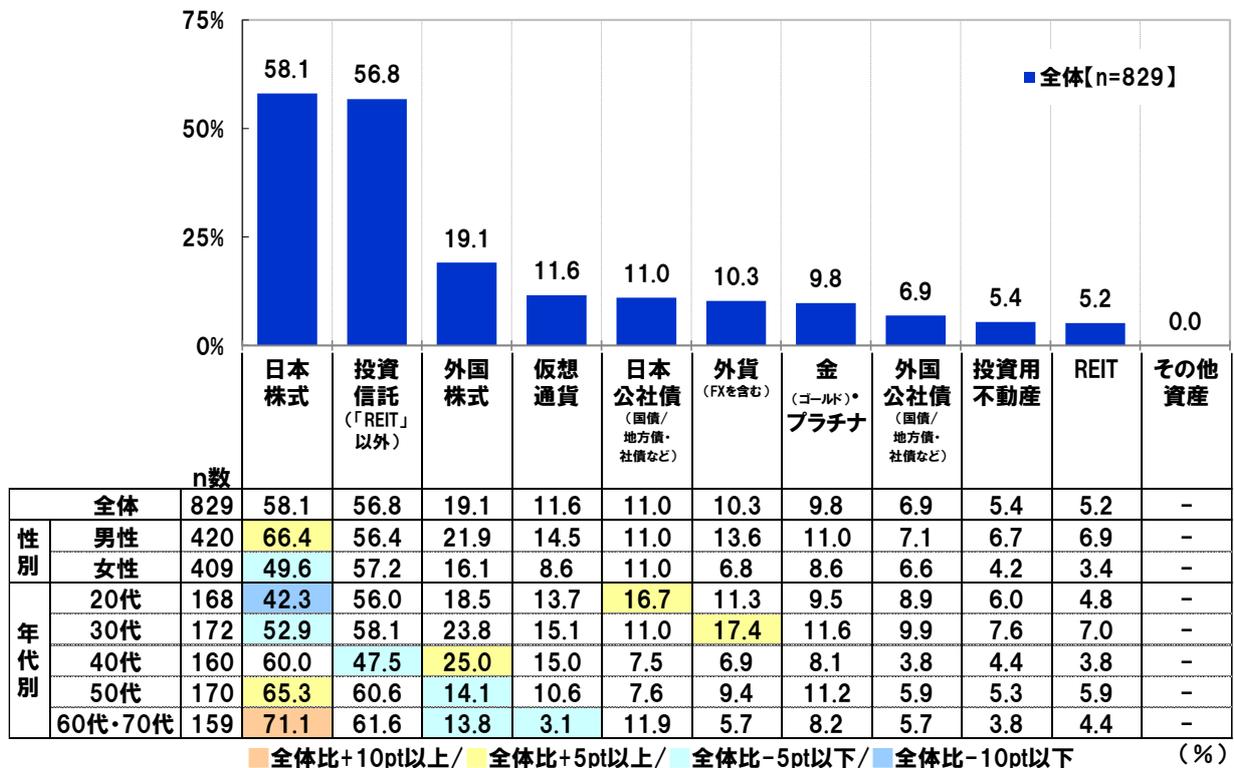
投資家(829名)に、現在投資している資産を聞いたところ、「日本株式」(58.1%)と「投資信託(「REIT」以外)」(56.8%)が特に高くなり、「外国株式」(19.1%)、「仮想通貨」(11.6%)、「日本公社債(国債/地方債・社債など)」(11.0%)が続きました。

男女別にみると、「日本株式」(男性66.4%、女性49.6%)は、女性と比べて男性のほうが15ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、20代と30代では「投資信託(「REIT」以外)」(20代56.0%、30代58.1%)が1位、40代以上では「日本株式」(40代60.0%、50代65.3%、60代・70代71.1%)が1位でした。【図4】

[図4]

◆現在、投資している資産【複数回答形式】対象：投資家



◆投資家の“ポイント投資”利用率は49%、30代投資家では58%

投資サービスの利用状況について質問しました。

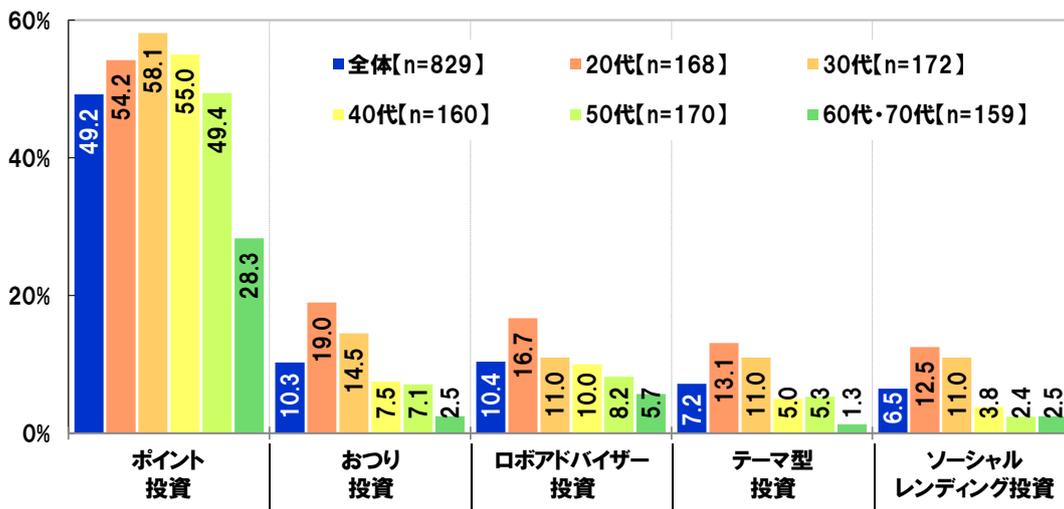
投資家(829名)に、共通ポイントなどで投資できる「ポイント投資」、買い物のおつりを自動で積み立て投資してくれる「おつり投資」、ロボットが資産運用を代行してくれる「ロボアドバイザー投資」、好きなテーマを選ぶと最適な銘柄を自動で選択してくれる「テーマ型投資」、ネット上でお金を借りたい企業を仲介してもらい投資できる「ソーシャルレンディング投資」の5つのサービスを提示し利用状況を聞いたところ、それぞれのサービスの利用率は、「ポイント投資」では49.2%、「おつり投資」では10.3%、「ロボアドバイザー投資」では10.4%、「テーマ型投資」では7.2%、「ソーシャルレンディング投資」では6.5%となりました。

年代別にみると、利用率は、「ポイント投資」では30代(58.1%)、「おつり投資」、「ロボアドバイザー投資」、「テーマ型投資」、「ソーシャルレンディング投資」では20代(順に19.0%、16.7%、13.1%、12.5%)が最も高くなりました。

[図5]

[図5]

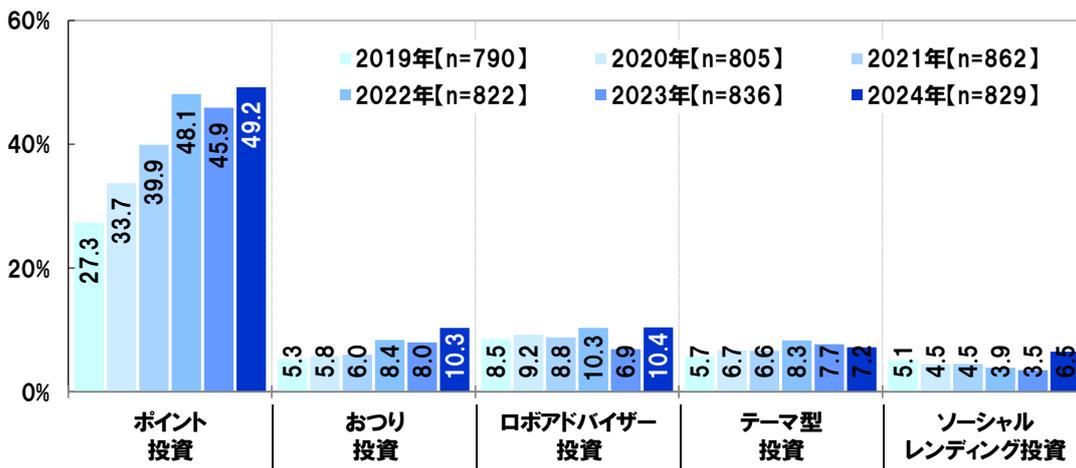
◆投資サービスの利用率 [各単一回答形式] 対象:投資家



過去の調査結果と比較すると、「ロボアドバイザー投資」の利用率は、2023年6.9%→2024年10.4%と、3.5ポイント上昇しました。 [図6]

[図6]

◆投資サービスの利用率 [各単一回答形式] 対象:投資家





◆投資家の35%が「ESG投資に前向き」、20代男性投資家では56%

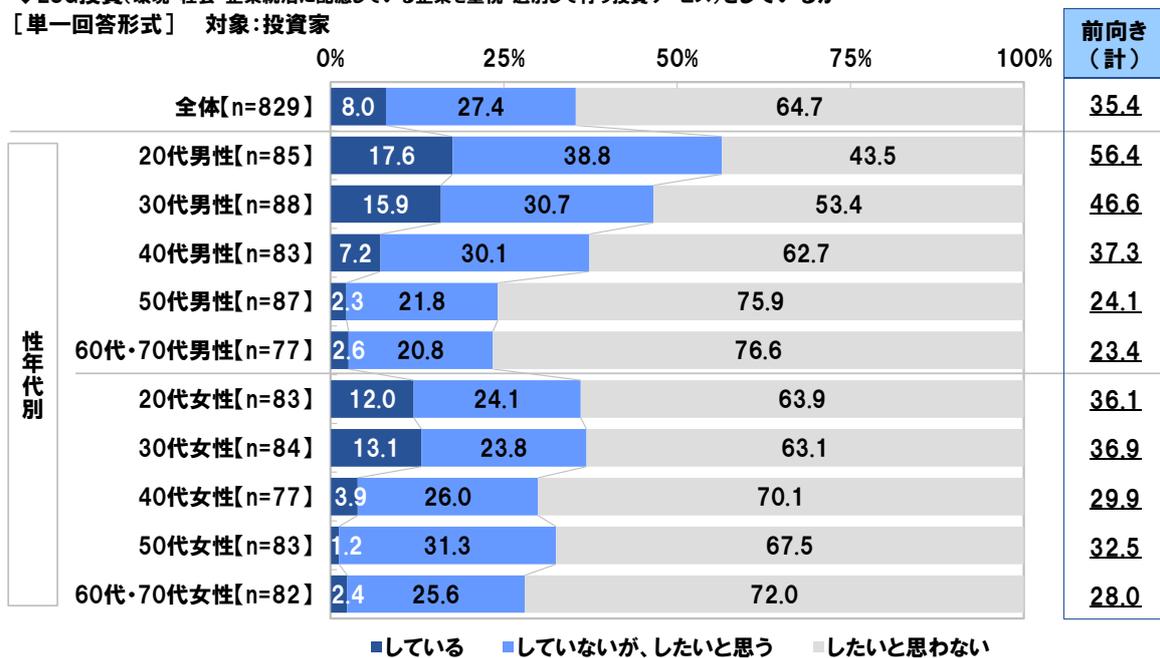
続いて、ESG投資について質問しました。

投資家(829名)に、ESG投資(環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資サービス)をしているか聞いたところ、「している」が8.0%、「していないが、したいと思う」が27.4%で、合計した『前向き』は35.4%となりました。

性年代別に見ると、ESG投資に前向きな人の割合は、20代男性(56.4%)が最も高くなり、30代男性(46.6%)、40代男性(37.3%)が続きました。【図7】

[図7]

◆ESG投資(環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資サービス)をしているか
 [単一回答形式] 対象:投資家





◆投資家の71%が「新NISAを利用している」、30代男性投資家では83%

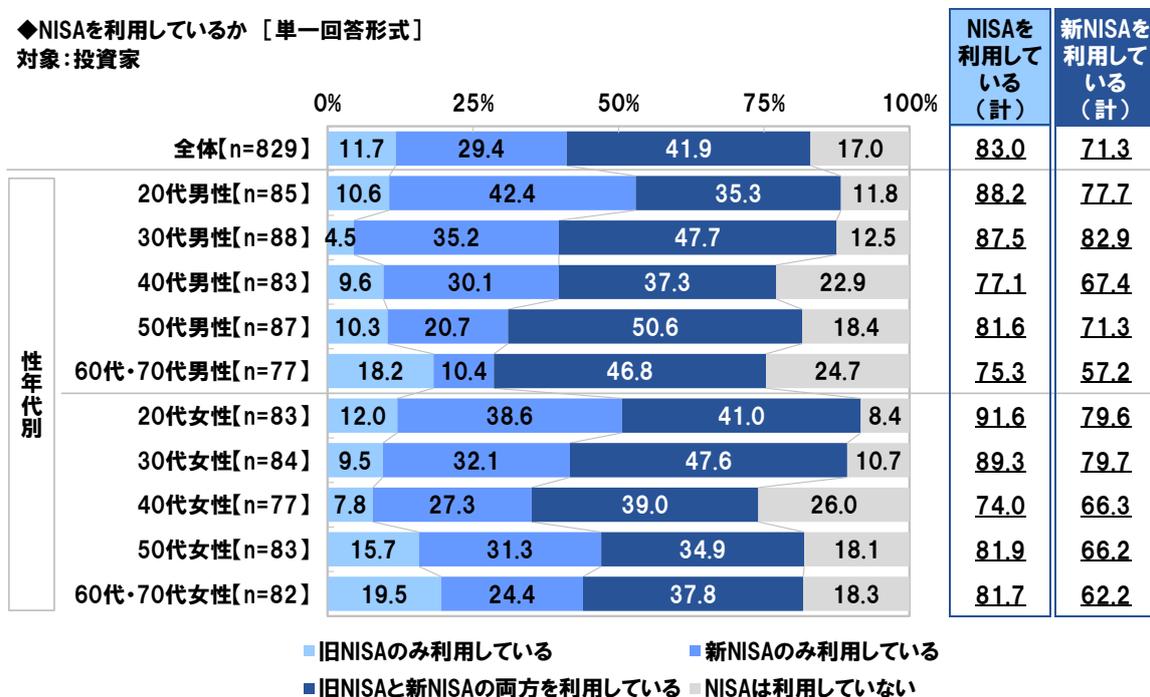
2024年1月から、新しいNISA制度(新NISA)が始まりました。新NISAでは、年間の投資枠が拡大され、投資商品の非課税期間が無期限になっています。

投資家(829名)に、NISAを利用しているか聞いたところ、「旧NISAのみ利用している」は11.7%、「新NISAのみ利用している」は29.4%、「旧NISAと新NISAの両方を利用している」は41.9%で、合計した『NISAを利用している』は83.0%、『新NISAを利用している』(「新NISAのみ利用している」「旧NISAと新NISAの両方を利用している」の合計)は71.3%となりました。また、「NISAは利用していない」は17.0%でした。投資家の大半が、2024年に開始された新NISAを利用していることがわかりました。

性年代別に見ると、『新NISAを利用している』と回答した人の割合は、男女とも30代(30代男性82.9%、30代女性79.7%)が最も高くなりました。[図8]

[図8]

◆NISAを利用しているか [単一回答形式]
対象:投資家



▼2024年の振り返り

◆2024年の“日本株式市場を表す漢字” 1位「乱」2位「変」

株式投資家(533名)に、2024年の日本株式市場を表す漢字1文字を聞いたところ、1位「乱」(70名)、2位「変」(30名)、3位「高」(26名)、4位「上」(22名)、5位「新」(19名)となりました。

それぞれの漢字を選んだ理由をみると、「乱」では『株価が乱高下したから』や『波乱な相場だったから』、「変」では『様々な制度が変わった年だから』や『日米のトップが変わったから』、「高」では『日経平均株価が史上最高値をつけたから』『物価が高くなったから』といった回答がありました。

昨年の調査結果と比較すると、2023年は株高や物価上昇を象徴する「高」や「上」が上位となっていたほか、紛争・戦争が続く世界情勢を反映した「戦」がTOP10入りしていました。2024年は「乱」が1位、「変」が2位と、株価の乱高下や政治・経済状況の変化を象徴する漢字が上位に並びました。[図9][図10]

[図9]

◆2024年の日本株式市場を表す漢字1文字

[自由回答形式]

対象:株式投資家[n=533] ※上位10位までを抜粋

順位 (名)	漢字 1文字	選んだ理由 (一部抜粋)
1位 (70名)	乱	株価が乱高下したから 波乱な相場だったから 様々な海外情勢で相場が乱れた気がするから
2位 (30名)	変	様々な制度が変わった年だから 日米のトップが変わったから
3位 (26名)	高	日経平均株価が史上最高値をつけたから 物価が高くなったから
4位 (22名)	上	株価が上昇したから
5位 (19名)	新	新NISAや東証の時間延長など新しいことがあったから
6位 (18名)	安	円安が進んだから
7位 (15名)	金	オリンピックの金メダルや金の価格上昇
8位 (各11名)	激 落	暴落も急騰もあり激しい相場の連続だったから 株価が大幅に下落した時期があるから
10位 (10名)	波	株価の上下動が激しかったから

[図10]

◀2023年の調査結果▶

◆2023年の日本株式市場を表す漢字1文字

[自由回答形式]

対象:株式投資家[n=518] ※上位10位までを抜粋

順位 (名)	漢字 1文字	選んだ理由 (一部抜粋)
1位 (34名)	高	日経平均株価が高いから 全てが高騰しているから 色々なものが値上がりして高くなったから
2位 (31名)	上	株価が上昇したから 値上げにより振り回されたから
3位 (30名)	乱	乱高下が頻発したから 波乱な気がするから
4位 (26名)	戦	世界で戦争が起きているから 戦争により不足する生活物資の影響があるから
5位 (23名)	安	円安で経済状態が不安だから
6位 (19名)	金	金が最高値になっているから
7位 (15名)	昇	株価が上昇しているから
8位 (各14名)	増 迷	色々なことが増加に転じたから 株価が迷走しているから
10位 (12名)	変	変動が大きかったから



◆「2024年の投資損益はプラス着地」と予想する投資家は62%、昨年比6ポイント上昇

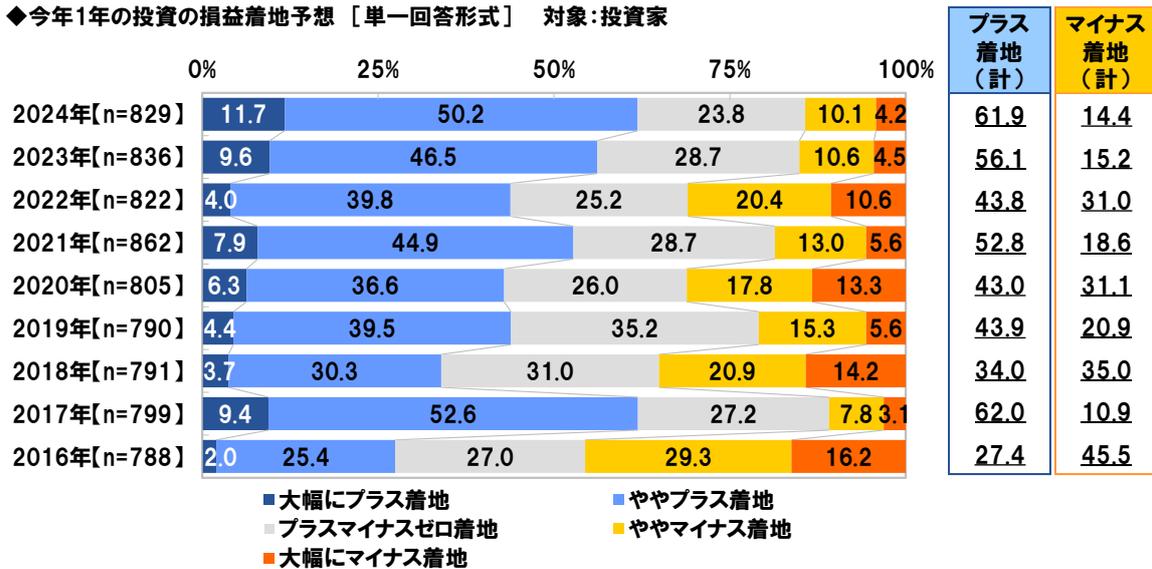
投資家(829名)に、今年1年の投資の損益着地予想を聞いたところ、「大幅にプラス着地」は11.7%、「ややプラス着地」は50.2%で、合計した『プラス着地』は61.9%、「大幅にマイナス着地」は4.2%、「ややマイナス着地」は10.1%で、合計した『マイナス着地』は14.4%と、プラス着地を予想する人が多数となりました。

過去の調査結果と比較すると、『プラス着地』と回答した人の割合は、2022年43.8%→2023年56.1%→2024年61.9%と、2年連続での上昇となり、今年は昨年と比べて5.8ポイント上昇しました。【図11】

[図11]

＜経年比較＞

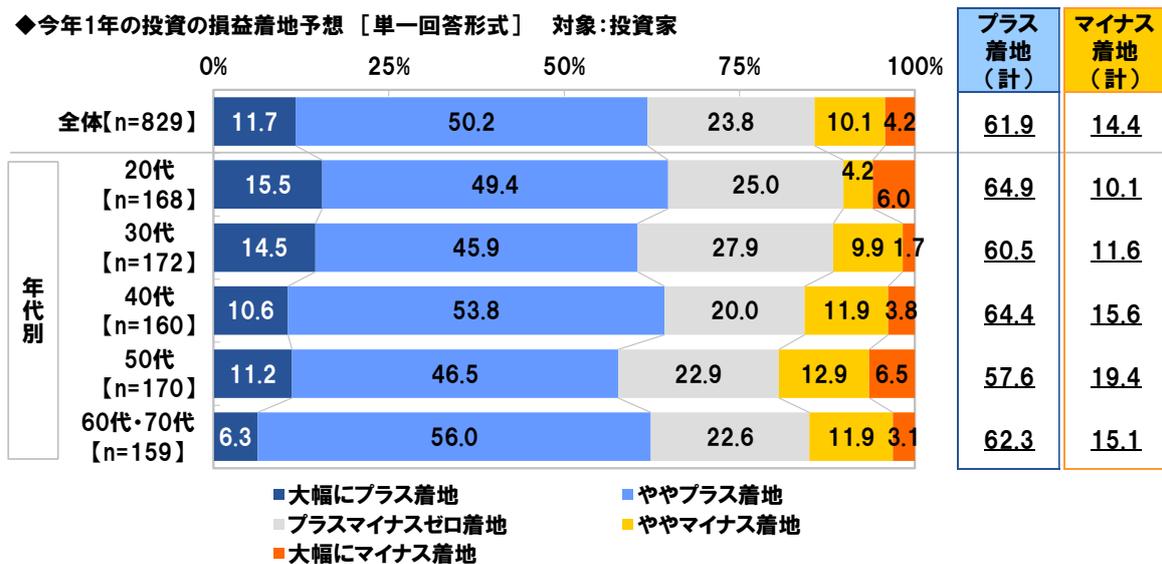
◆今年1年の投資の損益着地予想 [単一回答形式] 対象:投資家



年代別にみると、『プラス着地』と回答した人の割合は、20代(64.9%)と40代(64.4%)で高くなりました。【図12】

[図12]

◆今年1年の投資の損益着地予想 [単一回答形式] 対象:投資家





◆投資損益プラス着地予想者の勝因 1位「動じない・一喜一憂しない」2位「放置・ほったらかし投資」
 ◆投資損益マイナス着地予想者の敗因 1位「円安・ドル高」2位「業績悪化・保有株の不振」

今年1年の投資の損益着地予想について、どのようなことが要因だと考えている投資家が多いのでしょうか。『プラス着地』の人には勝因を、『マイナス着地』の人には敗因を聞きました。

プラス着地と予想した投資家(513名)に勝因を一言で表してもらったところ、1位「動じない・一喜一憂しない」(34名)、2位「放置・ほったらかし投資」(31名)、3位「長期保有・長期投資」(26名)となりました。株価の変動や世界・日本の社会情勢の変化に翻弄されず冷静に判断したことや、短期的な売買を行わない、放置も含めた長期投資のスタンスがプラス着地につながったと考えている人が多いようです。

マイナス着地と予想した投資家(119名)に敗因を一言で表してもらったところ、1位「円安・ドル高」(8名)、2位「業績悪化・保有株の不振」(7名)、3位「アメリカ大統領選挙」(6名)となりました。【図13】

[図13]

◆今年(2024年)の投資の損益をプラス着地/マイナス着地と予想する要因 [各自由回答形式]
 対象:プラス着地を予想する投資家[n=513]/マイナス着地を予想する投資家[n=119]
 ※それぞれ上位10位までを抜粋

プラス着地の要因(勝因)

順位	回答	名
1位	動じない・一喜一憂しない	34
2位	放置・ほったらかし投資	31
3位	長期保有・長期投資	26
4位	アメリカ大統領選挙	17
5位	円安・ドル高	16
	安くなったときに購入	16
7位	忍耐・我慢	13
8位	コツコツ・継続投資	12
	銘柄選び・セクター選び	12
10位	ローリスク・堅実な投資	11
	積立投資	11

マイナス着地の要因(敗因)

順位	回答	名
1位	円安・ドル高	8
2位	業績悪化・保有株の不振	7
3位	アメリカ大統領選挙	6
4位	放置・動かなかった	5
5位	損切りの判断ミス	4
	勉強不足・知識不足	4
7位	円高	3
	株価下落・株安	3
	高値つかみ	3
	売買のタイミング	3
	不景気・日本経済の状況	3
	狼狽売り・一喜一憂した	3



◆2024年8月の日経平均株価の記録的な乱高下、投資家はどのように動いた？

投資家の34%が「日経平均株価が大きく下落した局面で保有投資資産を買い増した」と回答

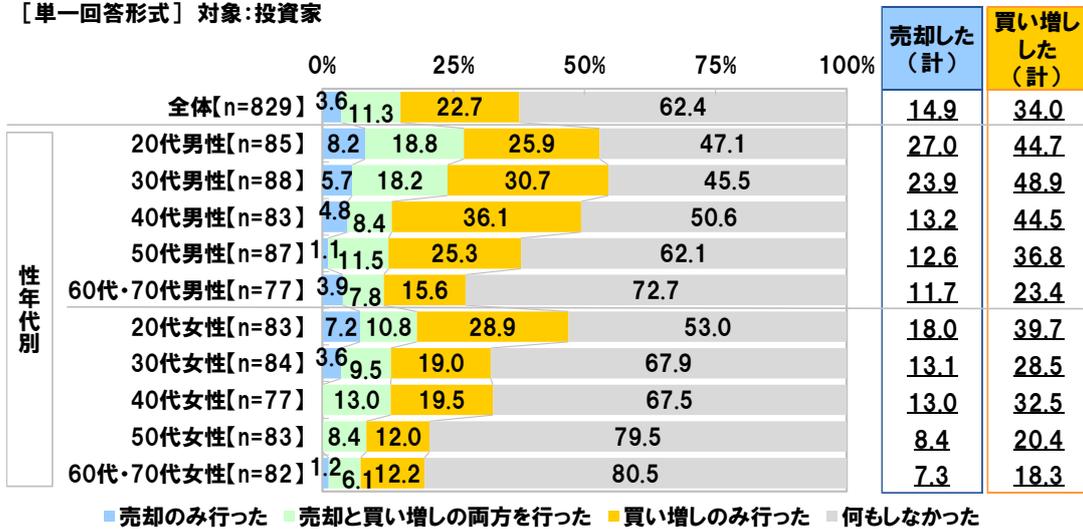
今年(2024年)の8月5日に、日経平均株価は前日比4,451円28銭安と過去最大の下げ幅を記録、しかし翌6日には前日比3,217円04銭高と過去最大の上げ幅を記録し、記録的な乱高下となりました。

投資家(829名)に、2024年8月に日経平均株価が大きく下落した局面で、保有投資資産をどのようにしたか聞いたところ、「売却のみ行った」は3.6%、「売却と買い増しの両方を行った」は11.3%、「買い増しのみ行った」は22.7%で、『売却した』(「売却のみ行った」と「売却と買い増しの両方を行った」の合計)は14.9%、『買い増した』(「買い増しのみ行った」と「売却と買い増しの両方を行った」の合計)は34.0%となりました。また、「何もしなかった」は62.4%でした。動かず様子見た人や、反発を期待して買い増した人が多いのではないのでしょうか。

性年代別にみると、『買い増した』と回答した人の割合は、30代男性(48.9%)が最も高くなりました。[図14]

[図14]

◆2024年8月に日経平均株価が大きく下落した局面で、保有投資資産をどのようにしたか
[単一回答形式] 対象:投資家

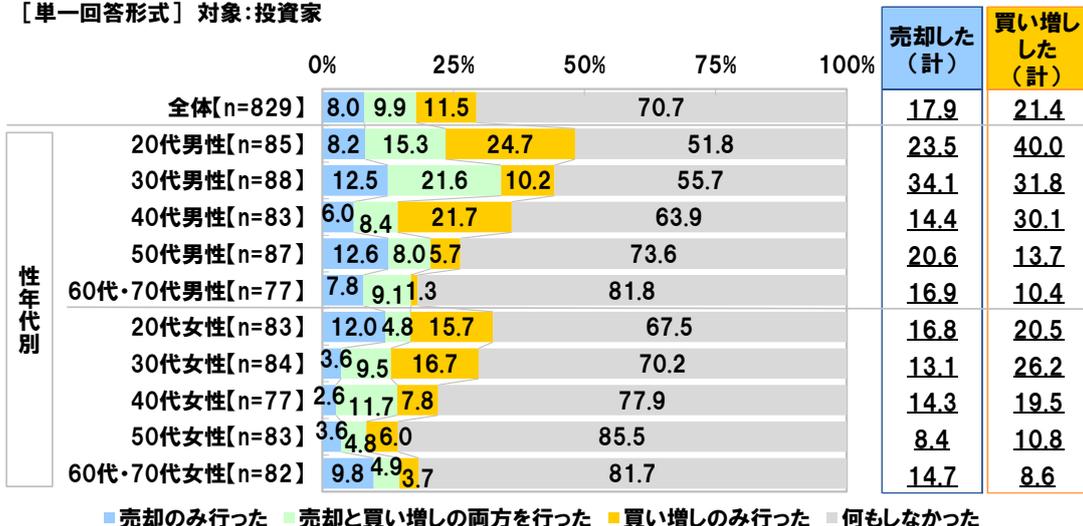


他方、2024年8月に日経平均株価が大きく上昇した局面で、保有投資資産をどのようにしたか聞いたところ、『売却した』は17.9%、『買い増した』は21.4%となり、「何もしなかった」は70.7%でした。状況を静観していた人が多いようです。

年代別にみると、『買い増した』と回答した人の割合は、20代男性(40.0%)が最も高くなりました。20代男性投資家には、さらなる値上がりを予想して買い増した人が少なくないようです。[図15]

[図15]

◆2024年8月に日経平均株価が大きく上昇した局面で、保有投資資産をどのようにしたか
[単一回答形式] 対象:投資家





- ◆投資家が選ぶ今年の経済分野の流行語 1位「新NISA／NISA／つみたてNISA」
- ◆投資家が積極的に投資を進めるきっかけとなったニュース 2位「アメリカ大統領選挙」、1位は？

今年、投資家が注目したキーワードやニュースについて質問しました。

投資家(829名)に、今年(2024年)の経済分野の流行語(トレンドワードや新興の分野、技術、産業など)だと思ふものを聞いたところ、「新NISA／NISA／つみたてNISA」(114名)がダントツとなりました。新NISAスタートをきっかけにNISAブームが起きたことを実感している投資家が多いのではないのでしょうか。以降、2位「AI(人工知能)」(55名)、3位「円安」(44名)、4位「半導体」(34名)、5位「トランプ／もしトラ／またトラ」(33名)と続きました。【図16】

[図16]

◆今年(2024年)の経済分野の流行語(トレンドワードや新興の分野、技術、産業など)だと思ふもの [自由回答形式]
 対象:投資家[n=829] ※上位10位までを抜粋

順位	回答	名
1位	新NISA／NISA／つみたてNISA	114
2位	AI(人工知能)	55
3位	円安	44
4位	半導体	34
5位	トランプ／もしトラ／またトラ	33
6位	生成AI/ChatGPT	22
7位	物価高/値上げ	13
8位	IT	9
9位	選挙	7
	令和の米騒動/米不足/米高騰	7

今年、積極的に投資を進めようと思ふきっかけとなったニュースを聞いたところ、1位「新NISA・NISA・つみたてNISA関連」(160名)、2位「アメリカ大統領選挙」(95名)、3位「円安・ドル高」(91名)、4位「物価高・物価上昇」(55名)、5位「株価上昇・株高」(46名)となりました。【図17】

[図17]

◆2024年、積極的に投資を進めようと思ふきっかけとなったニュース [自由回答形式]
 対象:投資家[n=829] ※上位10位までを抜粋

順位	回答	名
1位	新NISA・NISA・つみたてNISA関連	160
2位	アメリカ大統領選挙	95
3位	円安・ドル高	91
4位	物価高・物価上昇	55
5位	株価上昇・株高	46
6位	老後2000万円問題・老後資金関連	29
7位	衆議院議員選挙	17
	選挙関連	17
9位	自民党総裁選挙・石破総理就任	13
	年金関連	13

▼2025年以降の展望

◆投資経験者が来年以降の日本経済成長のために必要だと思うこと 1位「物価高騰の抑制」

来年(2025年)以降の日本経済や市場の展望について質問しました。

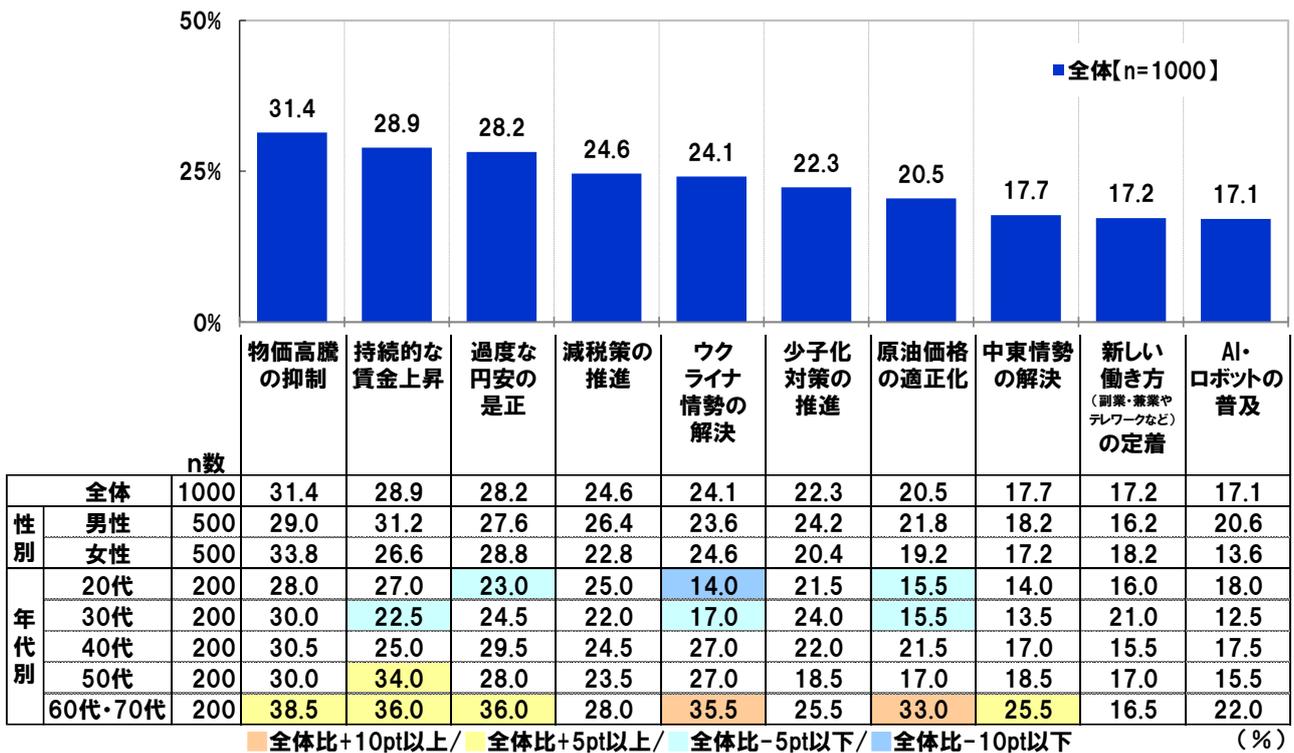
全回答者(1,000名)に、来年以降の日本経済の成長のために必要だと思うことを聞いたところ、「物価高騰の抑制」(31.4%)が最も高くなりました。延々と続く物価上昇への対策が急務と考える人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「持続的な賃金上昇」(28.9%)、「過度な円安の是正」(28.2%)、「減税策の推進」(24.6%)、「ウクライナ情勢の解決」(24.1%)でした。

男女別にみると、「AI・ロボットの普及」(男性20.6%、女性13.6%)は、女性と比べて男性のほうが7.0ポイント高くなりました。

年代別にみると、50代では「持続的な賃金上昇」(34.0%)が1位でした。また、60代・70代では、「ウクライナ情勢の解決」(35.5%)と「原油価格の適正化」(33.0%)が全体と比べて10ポイント以上高くなりました。【図18】

[図18]

◆来年以降の日本経済の成長のために必要だと思うこと [複数回答形式] ※上位10位までを抜粋



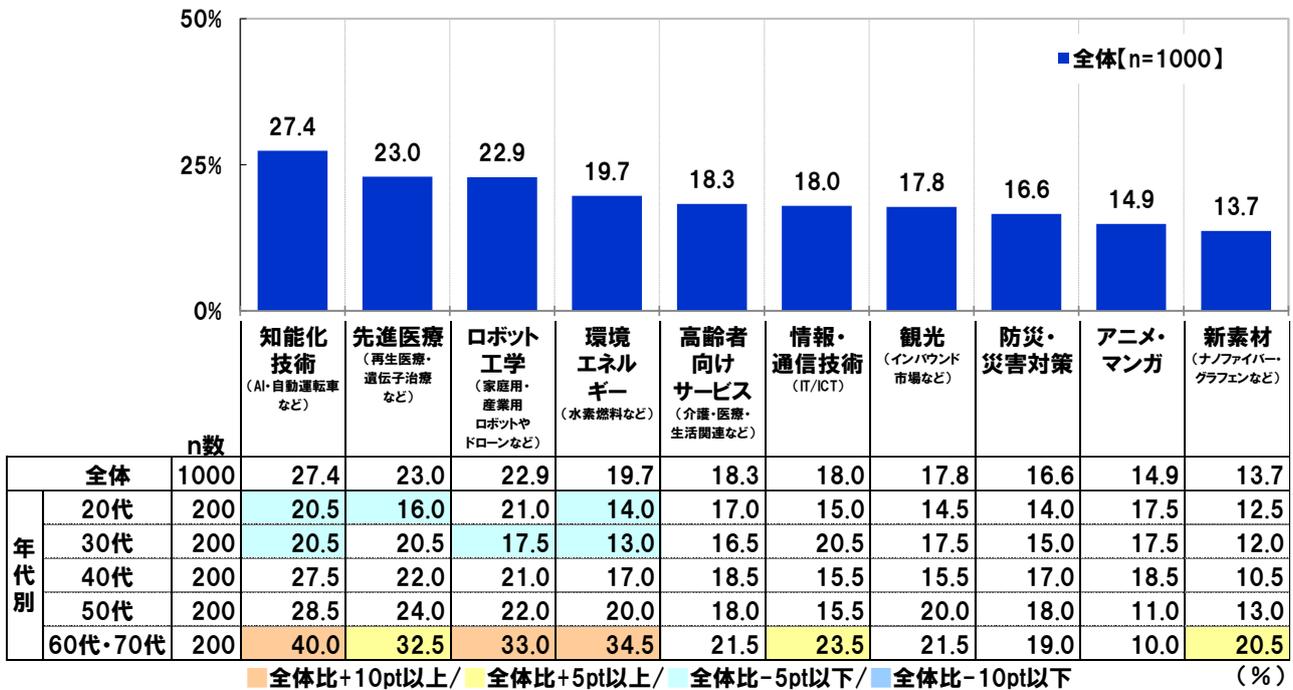
◆今後、長期的に成長の期待が持てそうだと感じる市場 TOP3 「知能化技術」「先進医療」「ロボット工学」

次に、“今後、長期的に成長の期待が持てそうだと感じる市場（産業）を聞いたところ、「知能化技術（AI・自動運転車など）」（27.4%）が最も高くなり、「先進医療（再生医療・遺伝子治療など）」（23.0%）、「ロボット工学（家庭用・産業用ロボットやドローンなど）」（22.9%）、「環境エネルギー（水素燃料など）」（19.7%）、「高齢者向けサービス（介護・医療・生活関連など）」（18.3%）が続きました。先端技術に関連した分野や、深刻化が懸念されるエネルギー問題、高齢化社会に関連した分野に期待する人が多いようです。

年代別にみると、20代では「ロボット工学（家庭用・産業用ロボットやドローンなど）」（21.0%）が1位、30代では「知能化技術（AI・自動運転車など）」「先進医療（再生医療・遺伝子治療など）」「情報・通信技術（IT/ICT）」（いずれも20.5%）が同率で1位となりました。また、60代・70代では「知能化技術（AI・自動運転車など）」（40.0%）、「ロボット工学（家庭用・産業用ロボットやドローンなど）」（33.0%）、「環境エネルギー（水素燃料など）」（34.5%）が全体と比べて10ポイント以上高くなりました。【図19】

[図19]

◆“今後、長期的に成長の期待が持てそうだと感じる市場（産業）【複数回答形式】 ※上位10位までを抜粋





◆“与党過半数割れ”が2025年日本株式市場に与える影響 投資経験者の33%が「良い影響」と予想
 ◆“またトラ”が2025年日本株式市場に与える影響 投資経験者の41%が「良い影響」と予想

2024年は多くの国で重要な選挙が実施される“選挙イヤー”となりました。

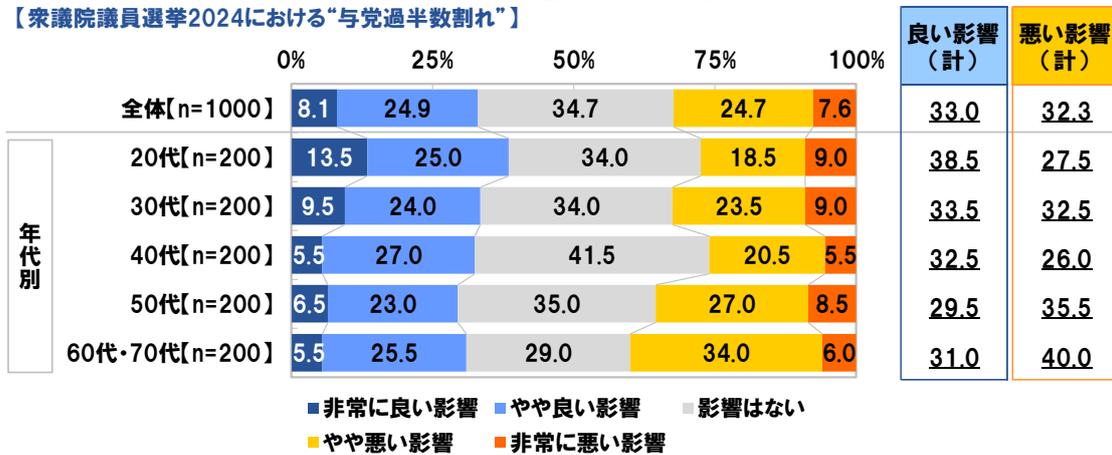
日本では、10月の衆議院議員選挙において、与党の議席が15年ぶりに過半数を割る結果となりました。

全回答者(1,000名)に、衆議院議員選挙2024における“与党過半数割れ”は2025年の日本株式市場にどのような影響を与えると思うか聞いたところ、「非常に良い影響」は8.1%、「やや良い影響」は24.9%で、合計した『良い影響』は33.0%、「非常に悪い影響」は7.6%、「やや悪い影響」は24.7%で、合計した『悪い影響』は32.3%となりました。また、「影響はない」は34.7%でした。

年代別にみると、40代以下では『良い影響』(20代38.5%、30代33.5%、40代32.5%)が『悪い影響』(20代27.5%、30代32.5%、40代26.0%)を上回ったのに対し、50代以上では『悪い影響』(50代35.5%、60代・70代40.0%)が『良い影響』(50代29.5%、60代・70代31.0%)を上回りました。【図20】

[図20]

◆2025年の日本株式市場にどのような影響を与えると思うか [単一回答形式]
 【衆議院議員選挙2024における“与党過半数割れ”】



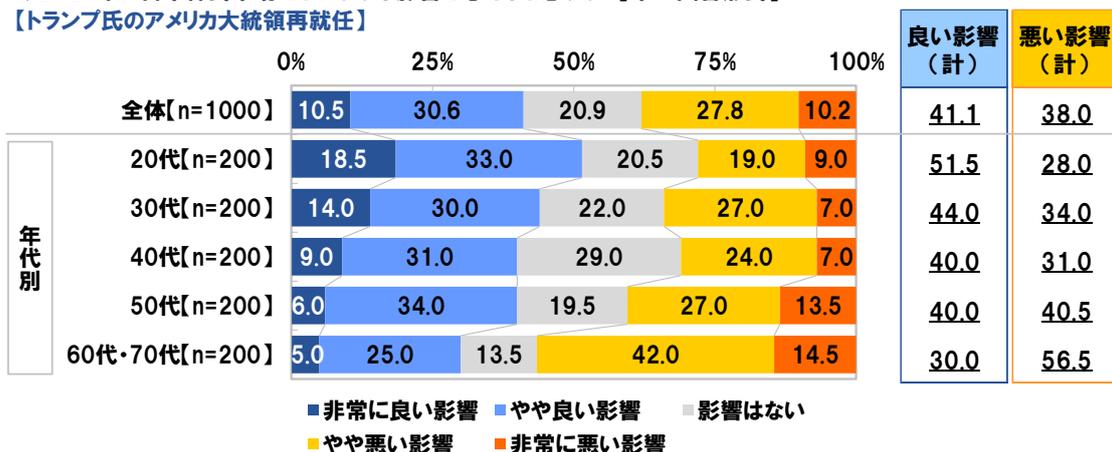
11月のアメリカ大統領選挙では、共和党のドナルド・トランプ氏が勝利し、4年ぶりに大統領に復帰します。

トランプ氏のアメリカ大統領再就任は2025年の日本株式市場にどのような影響を与えると思うか聞いたところ、『良い影響』は41.1%、『悪い影響』は38.0%、「影響はない」は20.9%となりました。

年代別にみると、40代以下では『良い影響』(20代51.5%、30代44.0%、40代40.0%)が『悪い影響』(20代28.0%、30代34.0%、40代31.0%)を上回りました。50代では『良い影響』(40.0%)と『悪い影響』(40.5%)がほぼ同率で、60代・70代では『悪い影響』(56.5%)が『良い影響』(30.0%)を上回る結果となりました。日本株式市場への影響について、若い年代ほどポジティブにとらえているようです。【図21】

[図21]

◆2025年の日本株式市場にどのような影響を与えると思うか [単一回答形式]
 【トランプ氏のアメリカ大統領再就任】





◆2025年12月末の日経平均株価 株式投資家の予想は平均 37,361円

日本企業が本来の実力を発揮し、株式市場で正当に評価された場合の予想は平均 41,517円

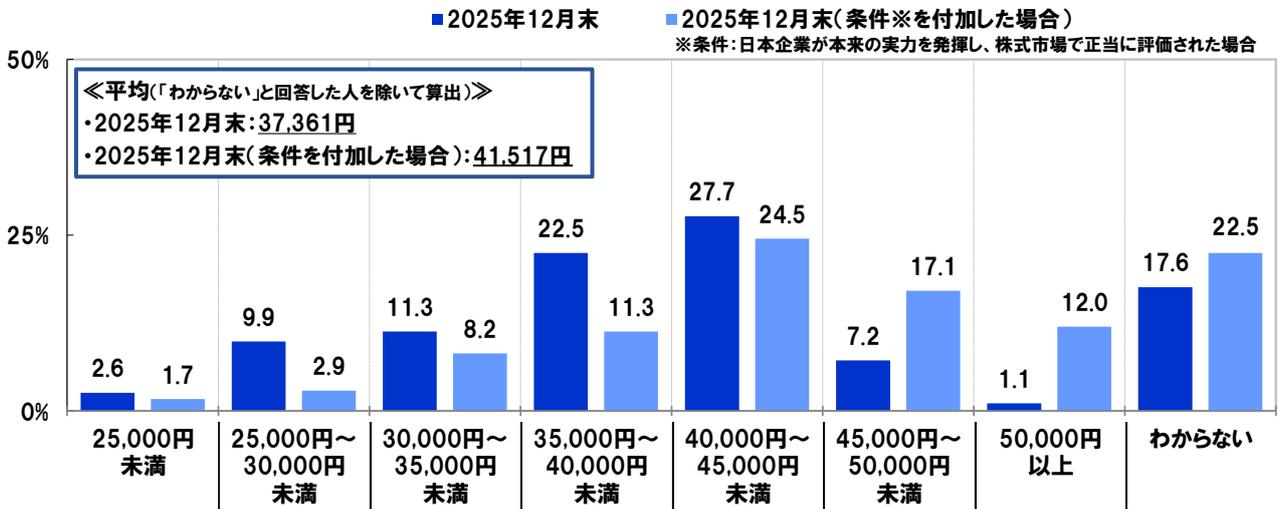
最後に、今後の日経平均株価がどのように変動するか、株式投資家の予想を聞きました。

株式投資家(533名)に、約1年後の2025年12月末の日経平均株価の予想を聞いたところ、「40,000円～45,000円未満」(27.7%)に多くの回答が集まり、平均(「わからない」と回答した人を除いて算出)は37,361円となりました。

“日本企業が本来の実力を発揮し、株式市場で正当に評価された場合”という条件を加えて聞いたところ、「40,000円～45,000円未満」(24.5%)や「45,000円～50,000円未満」(17.1%)に多くの回答が集まり、平均は41,517円となり、条件を加えていない場合(37,361円)と比べて4,156円高くなりました。【図22】

[図22]

◆日経平均株価の予想 [各単一回答形式] 対象:株式投資家[n=533]

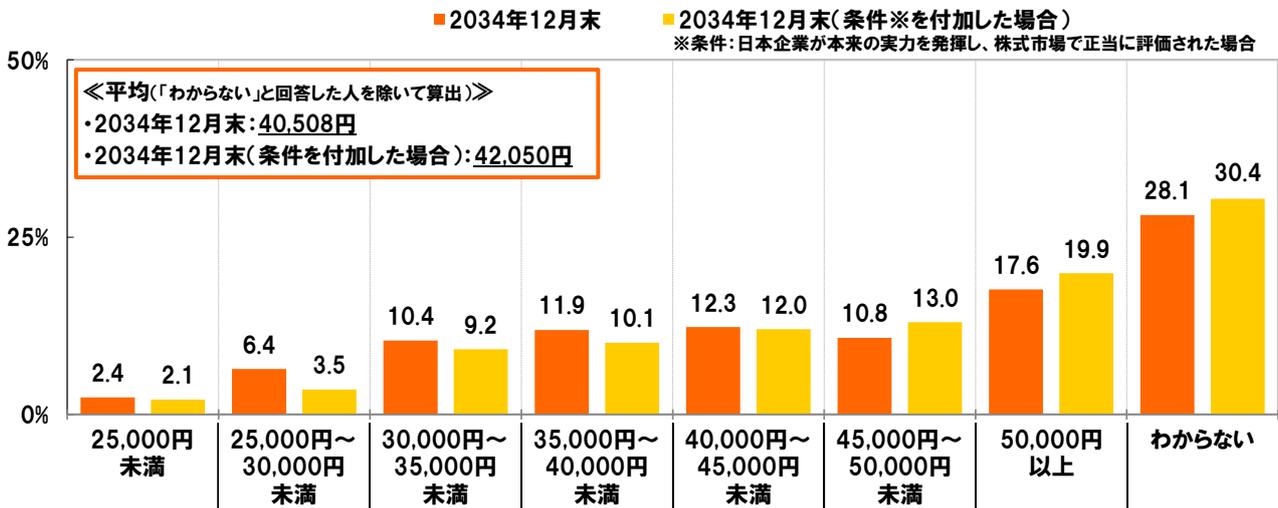


また、約10年後の2034年12月末の日経平均株価の予想を聞いたところ、「50,000円以上」(17.6%)や「40,000円～45,000円未満」(12.3%)などに回答が集まり、平均は40,508円となりました。

“日本企業が本来の実力を発揮し、株式市場で正当に評価された場合”という条件を加えて聞いたところ、「50,000円以上」(19.9%)に多くの回答が集まり、平均は42,050円でした。【図23】

[図23]

◆日経平均株価の予想 [各単一回答形式] 対象:株式投資家[n=533]





■■ 調査概要 ■■

- ◆ 調査タイトル : 日本株式市場の振り返りと展望に関する意識調査2024
- ◆ 調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
全国の20歳～79歳の投資経験者
(日本株式、外国株式、公社債、投資信託などの
金融資産への投資経験がある人)
- ◆ 調査期間 : 2024年11月8日～11月12日
- ◆ 調査方法 : インターネット調査
- ◆ 調査地域 : 全国
- ◆ 有効回答数 : 1,000サンプル

	20代	30代	40代	50代	60代・70代	計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500

- ◆ 実施機関 : ネットエイジア株式会社

■■ 報道関係の皆様へ ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「スパークス・アセット・マネジメント調べ」と付記のうえ
ご使用いただきますようお願い申し上げます。

■■ 本調査に関するお問合せ窓口 ■■

- 会社名 : スパークス・アセット・マネジメント株式会社
- 所在地 : 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 6 階
- 会社 HP : <https://www.sparx.co.jp/>
- 担当 : 広報室
- メールアドレス : pr_media@sparxgroup.com
- TEL : 03-6711-9200(代表)
- FAX : 03-6711-9201(代表)